

「空間情報を活用したインフラマネジメント」

老朽化が進行するインフラに対して、客観的根拠に基づくマネジメント政策の形成、いわゆるEBPM（Evidence Based Policy Making）が求められている。本講演では、目視点検データを用いた統計的劣化予測と、それをコア技術とするEBPMによるインフラマネジメントについてこれまでの研究成果を述べる。具体的には橋梁、舗装や下水道を対象としたインフラマネジメントの事例を紹介する。また、SIP第3期課題「スマートインフラマネジメントシステムの構築」のサブ課題として設定された「EBPMによる地域インフラ群マネジメント構築に関する技術」の概要と、地域インフラ群マネジメントを社会実装するために必要なデジタル基盤との連携について説明する。